

College of Saint Benedict and Saint John's University

DigitalCommons@CSB/SJU

Celebrating Scholarship and Creativity Day

Undergraduate Research

4-25-2019

??????

Jeremy Jahn

College of Saint Benedict/Saint John's University, JJAHN001@CSBSJU.EDU

Follow this and additional works at: https://digitalcommons.csbsju.edu/ur_cscday

Recommended Citation

Jahn, Jeremy, "??????" (2019). *Celebrating Scholarship and Creativity Day*. 76.

https://digitalcommons.csbsju.edu/ur_cscday/76

This Paper is brought to you for free and open access by DigitalCommons@CSB/SJU. It has been accepted for inclusion in Celebrating Scholarship and Creativity Day by an authorized administrator of DigitalCommons@CSB/SJU. For more information, please contact digitalcommons@csbsju.edu.

ジェレミー・ジャン

日本語 3 1 2

2019年4月10日

ほつぽうりょうどもんたい
北方領土問題

はじめに何が問題なのか説明します。まだ日本とロシアは第二次世界大戦の平和条約の内容をすべて取り決めていません。両国の間にクリル列島があり、大戦の前に全ての列島は日本の領土でしたが、日本は大戦に負けた直後にソ連にクリル列島を取られて、ソ連の領土になりました。日本の政府はロシアの政府にクリル列島を返してほしいです。ソ連とロシアの歴史を知らない人のために説明します。1991年の前にロシアがありませんでした。ソ連と言いました。ソ連は複数のソビエト共和国により構成される連邦国家でした。

次に島の場所や大きさを話します。クリル列島は北海道の北にあります。列島の中で、二つは大きくて、ほかの二つは小さいです。日本語で北方領土という列島ですが、ロシア語でクリル列島とよく言います。私の発表では、これらの島をクリル列島と呼びます。

次に歴史を話します。1855年にソ連と日本は日露和親条約という条約を交わしました。日本はクリル列島を全てもらって、ソ連は北にあるほかの島をもらいました。その時に日本人やアイヌ族は北に移り住んで第二次世界大戦の時に一万七千名ぐらい日本人がここに移住しました。

第二次世界大戦の後でアメリカとイギリスとソ連の国はヤルタ会談を始めました。大戦中、ソ連はアメリカが勝つ手助けをしたので、フランクリン・ルーズベルトというアメリカの大統領がソ連にクリルを取れると約束しました。その約束のもと、クリル列島に住んでいる日本人はソ連に強制退去をさせられ

ました。でも、この活動は実は違法でした。クリル列島をロシアが所有できるかどうか認める条約がありません。この日本とロシアの間の争いが北方領土問題です。

前述したこの活動は違法ですがクリル列島はまだロシアの領土です。どうしてですか。次にサンフラン

シスコ講和条約や1956年の日本とソ連共同声明を説明します。BBCというイギリスの放送の

会社によると、1951年に日本と他の国はサンフランシスコ講和条約の契約を交わしました。この

条約で、日本は他の国にクリル列島の所有権を取られましたが、ソ連はこの条約に同意しませんでした

た。だから、ロシアはクリル列島の所有権をえなかったので、列島を所有していることは違法です。そ

れから、日本の政府はロシアの政府が列島を所有していることは全く法的に認めませんでした。日本は

またロシアの列島を所有しようとする活動が好きじゃないです。次に、日本とソ連共同声明を説明しま

す。1956年に一緒にこの声明を書きましたから国交は改善されました。でも、声明は領土問題を

解説しませんでした。だから、まだ日本とロシアは第二次世界大戦を終えるための平和条約に同意しませんでした。

実は列島の中で、二つの小さい島について、ロシアは日本に譲ると勧めました。でも、日本はロシアの

すすめを断りました。なぜでしょうか。理由があります。列島の全ての陸地面積と比べてこの二つの島

の陸地面積は7%だけです。だから、日本はこのすすめは悪いと考えました。

どうしてどちらの国もこの列島を譲らないのでしょうか。次に列島がほしい理由を説明します。クリル

列島はたくさんいい釣りの場所があって、科学者によると沖合ではガソリンや石油があって、珍しい

化学品や鉱産物もあります。三十万人ぐらいロシア人は列島に住んでいて、軍事基地があります。これ

にくわえて、冬になると周囲の太平洋は凍らないので、船はこの海の中に行くことができます。ロシア

の政府は海の道のアクセスは本当に大切だと見えています。

やく四十年後の冷戦中に、1993年の前に日本は北方領土問題からソ連をよく思っていなかったので、ソ連と大型な貿易をやりませんでした。でも、1993年にミハイル・ゴルバチョフという昔のソ連の最後の大統領は日本に行って、問題の内容を話して認めたのに、平和条約をまだ結べませんでした。その時にソ連はロシアに変わりました。両国の政府は問題の解決は難しいですが、将来にできるだけ早く平和条約を決めたいです。

ウラジーミル・プーチンという現在のロシアの大統領は2004年に前述の二つの小さい島について、ロシアは日本に列島を譲ると考えましたが、全てではないと述べていました。もちろん、日本の政府は全ての列島をもらいたいですね。私は日本の願いは難しいと思います。例えば、ロシアはクリル列島では経済的な開発をしていたり、三万人のロシア人は列島に住んでいたり、四つの島の中で一つにはロシアの軍基地があったりします。日本人の北方領土問題の意見は、ロシアは日本に二つの小さい島をくれる勧めはいいというものです。ロシア人は反面にプーチンの前述の勧めが好きじゃありません。実は今年の一月の二十日にモスクワでは日本とロシアの平和条約交渉について協議したので、日本にクリル列島をあげることに反対な集団プロテストが起こりました。五百人以上に行って、問題について話しました。ハフポストというニュースによると、主催者たちはロシア領だとして、“主権を訴える日本に反発するだけでなく、交渉に臨むプーチン大統領自体も批判している”と言いました。

この最近の会議は結果が出ませんでした。毎回、同じような問題ですので、多分将来に平和条約に同意することができないと思います。しかし、2017年に日本人がクリル列島にある墓地に行けるようにすることに賛成しました。この問題の平和条約を書きました。明らかに北方領土問題は難しい課題ですね。しかしながら、ゆっくり問題の解決は進んでいます。

関根和弘 (2019年1月21日)。北方領土引き渡しに反対する集会在モスクワで開かれた。領土

問題とは別のもう1つの狙いとは? Retrieved from:

https://www.huffingtonpost.jp/2019/01/20/meeting-kuril-islands_a_23647900/

Balmforth, T., & Devitt, P. (2019, January 14). Russia to Japan: Control over islands not up for discussion (A. Williams & P. Graff, Eds.). Retrieved from [https://www.reuters.com/article/us](https://www.reuters.com/article/us-russia-japan-lavrov/russia-to-japan-control-over-islands-not-up-for-discussion-idUSKCN1P81B6)

[-russia-japan-lavrov/russia-to-japan-control-over-islands-not-up-for-discussion-idUSKCN1P81B6](https://www.reuters.com/article/us-russia-japan-lavrov/russia-to-japan-control-over-islands-not-up-for-discussion-idUSKCN1P81B6)

How the Kuril Islands dispute arose, and the story behind Russian-Japanese peace efforts (2019, January 21). Retrieved from: <http://tass.com/world/1041010>

Kuril islands dispute between Russia and Japan (2013, April 29). Retrieved from:

<https://www.bbc.com/news/world-asia-pacific-11664434>

Kuril islands: strategic chain at heart of Russia-Japan dispute (2019, January 23). Retrieved from:

<https://dailytimes.com.pk/347086/kuril-islands-strategic-chain-at-heart-of-russia-japan-dispute/>

Tselichtchev, I. (2019, January 28). Will Russia and Japan ever reach an agreement over the Kuril Islands?

Retrieved from: <https://www.scmp.com/week-asia/opinion/article/2183772/will-russia-and-japan-ever-reach-agreement-over-disputed-kuril>